

YMFG NEWS RELEASE

2020年3月16日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 山口銀行

S I B（ソーシャルインパクトボンド）スキームに基づく融資対応について

山口フィナンシャルグループ（社長 吉村 猛）の子会社である山口銀行（頭取 神田一成）は、近隣しない5つの市町（山口県宇部市、岩手県遠野市、京都府八幡市、鹿児島県指宿市、埼玉県美里町）が実施する「ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業」に対し、SIB（ソーシャルインパクトボンド）スキームに基づく融資を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 融資内容

融資対象企業	合同会社健幸都市 Innovation Company 2
融資形態	当座貸越
対象事業概要	
事業名	ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業
参加地方公共団体	山口県宇部市、岩手県遠野市、京都府八幡市、鹿児島県指宿市、埼玉県美里町
概要詳細	【特徴】 2019年度第1回地方創生推進交付金（先駆タイプ・横展開タイプ）の交付対象事業における特徴的な取組事例として紹介された事業 【詳細】 人口減少と高齢化、更なる労働人口減少とともに、医療費などの扶助費の増加を課題として共有する自治体がICTを活用し、飛び地での広域連携を組成し、SIBによる民間サービス事業者への成果報酬契約の締結、ICTヘルスケアサービスの提供により、労働力低下による地場産業の低下の歯止めをかけ、高齢になっても生涯現役で働き続けられる仕組みを構築するとともに扶助費の抑制を図るもの。 【目標規模】 <ul style="list-style-type: none">扶助費（医療費・介護給付費）の抑制額12.7億円参加者2万人以上
事業期間	5年

2. S I B（ソーシャルインパクトボンド）とは

SIBとは、民間の活力を社会的課題の解決に活用するため、民間資金を呼び込み成果報酬型の委託事業を実施する取組です。

3. 今後の取組

山口フィナンシャルグループでは、官民連携（PPP／PFI）による民間資金、ノウハウを活用した社会課題の解決に対し、山口・広島・北九州の3つのエリアで地域プラットフォームの企画運営を主体的に行うなど案件創出の段階から積極的に取り組んでおります。今回のSIBへの対応のみならず、PPP／PFI及び公有地の利活用等の案件形成・事業化に向けたコンサルティング等も行っており、今後も民間の活力導入による地域における官民連携事業の推進を一層強化してまいります。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

山口銀行 事業性評価部

担当：河村 TEL:083-223-5127